全国主任児童委員研修会に参加して

草加市民生委員・児童委員協議会　会長　丹下和子

委員歴：24年4ヶ月

**研修会の概要**

主任児童委員制度創設30周年を記念し、全国民生委員児童委員連合会および全国社会福祉協議会の主催で研修会が開催されました。令和6年8月22日から23日にかけて、TKPガーデンシティ幕張 東京ベイ幕張ホールを会場とし、全国から市町村民児協会長および主任児童委員約120名が参加しました。

**初日のプログラム**

初日は、こども家庭庁成育局の高根沢景氏による行政説明が行われ、多機関との連携協力や「こども未来戦略」に関する具体的な内容が示されました。高根沢氏は、子どもたちが安心して成長できる環境を構築するための政策と、各機関の連携の在り方について説明しました。

続いて、聖隷クリストファー大学の泉谷朋子准教授による講演が行われました。「こどもまんなか社会」の実現をテーマに、児童委員・主任児童委員の職務や活動の意義、地域共生社会の推進、そして子どもの声を聴く重要性が語られました。子どもの代弁者として信頼関係を築くことの大切さを学び、現場での活動の在り方を見つめ直す機会となりました。

午後にはパネルディスカッションが行われ、地域での具体的な取り組みや課題解決策が共有されました。子どもの見守り活動や居場所づくりの成功例が紹介され、大変参考になる内容でした。

**二日目のグループワーク**

二日目は分散会形式でのグループワークが行われ、「児童委員協議会の活性化に向けた民生委員・児童委員と主任児童委員のさらなる連携強化」をテーマに議論が進められました。社会福祉法人至誠学舎立川の髙橋久雄氏を講師に迎え、現場で「できていること」と「課題」を話し合い、具体的な解決策や連携の強化方法が検討されました。

児童委員と主任児童委員が連携することで、子どもや子育て家庭への支援を効果的に行う方法が議論され、児童委員協議会が果たすべき役割を再確認しました。また、児童虐待やいじめ、不登校などの問題に対し、早期に発見し多機関と連携する必要性についても改めて学びました。

**今後の活動に向けて**

本研修で得られた知見は、草加市民生委員児童委員協議会において共有される予定です。こども家庭庁の発足に伴う「こども未来戦略」の見直しや「子育て政策の基本的考え方」を理解し、児童委員・主任児童委員としての役割を再確認しました。今後は、地域との連携を一層強化し、子どもたちや子育て家庭の声に寄り添う活動を進めていきます。

また、子どもの声をしっかり聴き、その視点に立って共に居場所をつくる姿勢が求められていることを強く感じました。この学びを日々の活動に活かし、地域社会における支援体制の充実を目指していきたいと考えています。